

このたびはガラスフロアコートをご購入頂きまして、誠に有難うございます。

製品の特長をご理解の上、末永く愛用して頂けるようお願い申し上げます。

**直射日光**  
ひび割れや変色を防ぐため、窓からの直射日光が長時間当たらないようにカーテンなどで直射日光をできるだけ遮ってください。

**雨水の吹き込み**  
雨水が吹き込んだ場合は、すぐにふき取ってください。放置しておくと、変色やふくれの原因になります。

**土足**  
上履き用ですので、土足での使用はお避けください。

**電気カーペット**  
電気カーペット対応商品ですが、床表面に断熱性のあるシートを敷くなどして熱をやわらげてください。なお、シートを敷いた場合でもひび割れなどが起こるおそれがあります。

**たばこ**  
火のついたたばこを落とした場合、すぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。また、たばこのヤニはアルコールをしみ込ませた布などでふき取ってください。

**重量物**  
ピアノなどの重量物を置く場合は根太や下地の補強をした上で、脚部分に敷板やインシュレーター(皿状のピアノ用台座)などを敷き、重量を分散させてください。また、移動させる時は引きすらないようにご注意ください。

**観葉植物**  
深めの水受け皿を使用し、床に水がこぼれないようにしてください。

**温風ヒーター**  
温風が床表面に直接当たらないようにマットを敷いてください。

**いすの脚**  
いすの足にゴムキャップやフェルトなどをつけると傷を防げます。

**部屋の過乾燥**  
エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続運転する場合、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45~70%です。

**冷蔵庫**  
冷蔵庫(とくに大型タイプ)の激風が床表面に直接当たらないようにマットを敷いてください。

**水**  
水をこぼした場合は、すぐにふき取ってください。放置しておくと、変色やふくれの原因になります。

**車いす**  
同じ箇所への繰り返しのご使用や、車いすの材質・形状などの条件によっては、床表面に傷や汚れがつくとあります。いつも通る箇所にはマットを敷くなどの対策をしてください。

**ペット**  
ペットの爪で、引っかき傷が発生するおそれがあります。また、排泄物をはじめ変色の原因となりますので、ペット専用のトイレの周辺にはマットなどを敷いておくことをおすすめします。

- お手入れ方法**
- 通常のお手入れは水拭き、乾拭き、マイクロファイバー等のお手入れで綺麗になります。
  - キッチン等、油分が飛び散る場所は、水で薄めた中性洗剤又はアルコールを使いふき取って下さい。(化学モップやパラフィンを含むシートは白く曇ったりすることがございます。)
  - 洗剤等を使用する場合は硬く絞ったタオルで仕上げ拭きをしてください。
  - フローリング面に直接当たる箇所(椅子、テーブルの足先)等はラグマットやフェルト等で保護をすると、傷が防げます。
  - 完全硬化するまで約1週間、かかります。掃除機はその後お使い下さい。また、スリッパ(裏生地がビニール、ゴム等)は摩擦が大きく、出来ればフェルト付スリッパが安心です。
  - 全自動掃除機(ルンバ等)は、フローリング面に直接当たる部分の砂等を十分に取り除いてからご使用下さい。(ピンなども飲み込むため定期的な清掃をおすすめします)
  - 掃除機を使用する際、ヘッド部の小石や砂は十分に取り除いてからご使用下さい。(自動式ヘッドは特にご注意ください)
  - キャスター付きの椅子を使用する場合はラグマットやラバーマットを敷いて下さい。
  - コーティングの施工面はWAX かけをしなくても美しさが長持ちします。

- ご注意事項
- お引越の際、家具や家電製品、段ボールでフローリング面を引きすらない様ご注意ください。(持ち上げて運ぶことを、お引越し業者様へお伝え下さい。)
  - ペットのいたすには十分に注意して下さい。引っかき傷には強くなりますが、床材はへこむことがあります。また、排泄物放置による目地からの侵入でフローリングが劣化する場合がございますのでご注意ください。
  - 観葉植物の受け皿、ペットのゲージ下、キッチンマットの下、洗面、トイレのマットの下等は湿度がこもりやすい場所です。定期的に風通して下さい。
  - コーティングの上にカーペット、マット等を長年敷いた場合、紫外線や外的要因によって型が残ったり、くっついたりします。定期的に風通して下さい。
  - 摩擦等の微細な傷の集まりがコート表面の光沢を下げる場合がございます。効果は持続しておりますが塗り直すことで光沢を復元できます。有償ですが再コートすることができます。
  - 本商品はフローリングの耐性をグレードアップさせるものですが、過水分や過乾燥等のフローリングメーカー様の取扱説明書の内容に準じてご使用下さい。
  - 本書は保証書と一緒に保管願います。